

令和4年度 小学校教員向け環境教育研修会 実施報告
「やってみよう！環境学習プログラム」
第2回「川のごみ拾い体験」（テーマ：ごみ）

□実施日時 令和4年7月29日（火） 9時30分～12時00分

□実施場所 江戸川区立東小岩小学校と周辺地域

□実施内容

1. 事務連絡・開講挨拶等

- ・事務局から受講上の注意、全体スケジュール等の説明
- ・環境局総務部環境政策課から開講挨拶等

2. 講師からの講義・体験

（講師：NPO法人自然環境アカデミー 谷村春樹氏）

（1）環境学習のポイント ～体験の重要性～

川のごみ拾いを体験しながら、川のごみはどこから来るのか考える。ごみの種類、捨てられている場所などから推察できるものも多い。危険なごみや熱中症対策についても注意しながら、学校で実施するときをイメージして児童になった気持ちで体験してほしい。

（2）それぞれの活動

<リアル>

① 川のごみ拾い体験

小学校近くの川まで移動し、川のごみ拾いを行った。川のごみ拾いは、どんな種類のごみが落ちているのか自分の目で確かめながら、とにかく落ちているごみを拾うのではなく、触れてはいけないものや近寄ってはいけない危険なポイントも共有しながら実施した。

川の周りは、草木が生い茂っているため、トングを使用したり、長袖長ズボンで保護したりするなど、ケガを防ぎながら実施した。また、夏の炎天下での作業のため、テントを立てることで日陰を確保し、水分補給の声掛けもこまめに行った。

実施後は、どのようなごみがあったか自分たちで分類し、記録シートに記入した。



“ポイ捨てごみ” きろくシート

■ 調べた場所:江戸川河川敷

ごみの種類	ごみの量	合計
もえる		
もえない		
びん		
カン		
ペットボトル		
その他		

チェックシート

■ 調べた場所:江戸川河川敷

☆ごみを拾って、わかったことや考えたことを記入

ごみについて考えるヒント

- ごみはなぜふえるのか
 - ごみが増え続けるとどうなるのか
 - ごみはどうすれば減るのか
 - 考えるために、どんなことをすれば良いのか

<オンライン>

① 動画によるごみ拾い体験の疑似体験

リアルの方々が川に移動している時間は、オンラインで参加された先生方の自己紹介や今回参加された理由などをお伺いすることで、アイスブレイクを行った。

次に、ごみ拾いの服装、拾ってはいけないものなど注意すべき点や、事前のごみ拾いなどをまとめた事前動画を視聴した。ごみ拾いの大まかな流れや拾っている人の動きなどを学び、実際の授業で実施する際のイメージを持てるようにした。

動画視聴後は、ごみ拾いをしている現場につなぎ、現場からの映像を見た。



(3) まとめ（質疑応答及び受講者同士の情報交換）<オンライン・リアル合同>

この日の研修を通じて、気づいたこと、感じたこと、授業での活用方法や各学校で実施した関連事例等について、個々に発表し、受講者で情報を共有した。





(発表意見の例)

- ・ 体験が一番生徒の心に影響がある。
- ・ 生徒が興味を持てば、自分でどんどんしたいことが見つかる。そんな授業をしたい。
- ・ 環境学習は何をすればいいか悩んでいたもので、今回参加してよかった。
- ・ ごみ拾いを実施する際の注意点がわかってよかった。
- ・ コロナ禍で実習が減っているので、ごみ拾いなどの外での活動をしたかった。

3. 事務連絡、アンケート記入等（事務局）

アンケート提出後、解散